

2022年度 甲陽学院中学2日目【算数】大問4

4けたの整数を一の位、十の位、百の位の順に四捨五入していく操作を行います。
例えば、2356にこの操作を行うと、 $2356 \rightarrow 2360 \rightarrow 2400 \rightarrow 2000$ となります。

(1)

3485にこの操作を行うとき、最後の整数を求めなさい。

(2)

この操作を行うと最後に5000になる4けたの整数で、
最も大きいものと最も小さいものを求めなさい。

(3)

4けたの整数Aにこの操作を行うと $A \rightarrow B \rightarrow C \rightarrow D$ となり、
Aより小さい4けたの整数Eにこの操作を行うと $E \rightarrow F \rightarrow G \rightarrow H$ となります。
 $A + E = 2128$ 、 $B + F = 2120$ 、 $C + G = 2200$ 、 $D + H = 2000$ であるとき、AとEを求めなさい。

